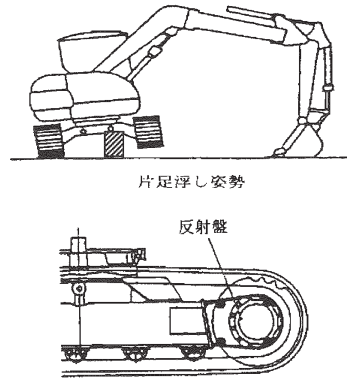
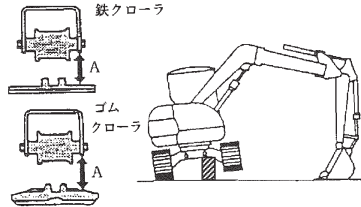
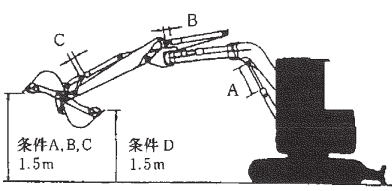
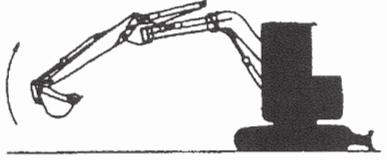
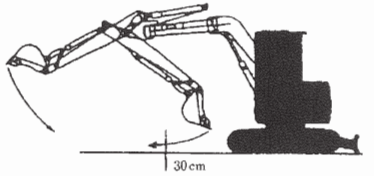
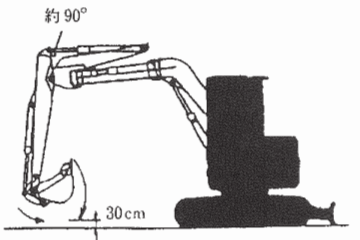






<p><b>走行速度</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・条件 作動油温 ; 50±5℃ 左右の履帯の張り均等</li> <li>・準備 走行モータカバーに、マグネット付反射盤を取付ける。 図のように旋回フレームを約90°旋回してアタッチメントを使用して片足のシュープレートが地面から浮くようにしする。</li> <li>・測定 エンジン回転数 ; ハイアイドル 走行2速スイッチ ; 2速 測定箇所 ; 右、左 方法 ; ストロボ回転計で回転数測定</li> </ul>	 <p>片足浮し姿勢</p> <p>反射盤</p> <p>反射盤貼付位置</p> <p>図-01</p>
<p><b>クローラの張り</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図のように 旋回フレームを約90°旋回してアタッチメントを使用して片足のシュープレートが地面から浮くようにする。</li> <li>・クローラフレーム中央部におけるフレーム下面とクローラシュー上面とのすきまを測定する。 注) ゴムクローラの場合は、“M”マークの印された継目部を上部中央にして測定すること。</li> </ul>	 <p>鉄クローラ</p> <p>ゴムクローラ</p> <p>図-02</p>
<p><b>シリンダ自然降下量</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・条件 作動油温 ; 50±5℃ 水平堅固な平坦地 シリンダ交換直後の場合は、シリンダ内のエア抜き後にします。 アームシリンダはストロークエンド30mm動いた(クッション範囲を外した)状態</li> <li>・準備 バケット空荷、アーム最伸(但しアームシリンダ30mm伸びた位置)、バケット爪先1.5m高さを保持する。</li> <li>・測定 エンジンキー OFF 後5分間経過時を測定する。 3回測定し、平均を測定値とする。</li> </ul>	 <p>条件A,B,C 1.5m</p> <p>条件D 1.5m</p> <p>図-03</p>

<p><b>ブームシリンダ速度</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・条件 作動油温 ; 50±5℃ エンジン ; ハイアイドル 作業モード ; S クッションストロークを除く作動時間</li> <li>・準備 バケット空荷で平坦地</li> <li>・ブーム操作レバー・フルストロークでバケット地面と最高位置の間の作動所要時間を測定する。 測定は3回行い、平均を測定値とする。</li> </ul>	 <p>図-04</p>
<p><b>アームシリンダ速度</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・条件 作動油温 ; 50±5℃ エンジン ; ハイアイドル 作業モード ; S クッションストロークを除く作動時間</li> <li>・準備 バケット空荷で平坦地</li> <li>・バケット爪先が地上約30cm高くなる姿勢で、アーム操作レバー・フルストロークで全ストローク作動所要時間を測定する。 測定は3回行い、平均を測定値とする。</li> </ul>	 <p>30cm</p> <p>図-05</p>
<p><b>バケットシリンダ速度</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・条件 作動油温 ; 50±5℃ エンジン ; ハイアイドル 作業モード ; S クッションストロークを除く作動時間</li> <li>・準備 バケット空荷で平坦地</li> <li>・バケット爪先が地上約30cm高くなる姿勢で、バケット操作レバー・フルストロークで全ストローク作動所要時間を測定する。 測定は3回行い、平均を測定値とする。</li> </ul>	 <p>約90°</p> <p>30cm</p> <p>図-06</p>

コベルコ建機

クレーン時の旋回速度測定

適用範囲		モデル名		SK10SR-2	SK17SR-3	SK20SR-5	SK27SR-5	SK30SRST-5
		適用号機		PA05001~	PU08001~	PM10609~	PV33453~	PD00101~
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
達動力置伝	作業機速度	旋回 作業装置姿勢 (図面番号表示)	S	11.6~15.6 図-07	13.3~15.0 図-07	13.4~14.8 図-07	13.4~14.8 図-07	13.3~15.0 図-07

適用範囲		モデル名		SK200-8	SK225SR	SK235SR-2	SK250-8
		適用号機		YN56001~	YB03501~	YF02501~	LQ07001~
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値			
達動力置伝	作業機速度	旋回 作業装置姿勢 (図面番号表示)	S	12.5±0.7 図-07	12.5±0.7 図-07	12.5±0.7 図-07	10.2±0.7 図-07

適用範囲		モデル名		SK30SR-5	SK35SR-5	SK40SR-5	SK50SR-5	SK20UR-2
		適用号機		PW46519~	PX21105~	PH06609~	PJ09807~	PB00801~
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
達動力置伝	作業機速度	旋回 作業装置姿勢 (図面番号表示)	S	13.1~14.5 図-07	13.1~14.5 図-07	13.2~14.6 図-07	13.2~14.6 図-07	12.8~14.3 図-07

適用範囲		モデル名		SK30UR-5	SK38UR	SK50UR-5	SK75UR-5	SK75SR-3
		適用号機		PR09001~	PQ00101~	YJ09501~	YR08501~	YT25001~
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
達動力置伝	作業機速度	旋回 作業装置姿勢 (図面番号表示)	S	12.7~14.1 図-07	12.7~14.1 図-07	12.7~13.9 図-07	11.5±0.7 図-07	11.5±0.7 図-07

適用範囲		モデル名		SK75SR+	SK125SR	SK130SR+	SK130UR-2	SK135SR-2
		適用号機		YT18001~	YV05501~	YV05501~	YX02501~	YY15001~
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
達動力置伝	作業機速度	旋回 作業装置姿勢 (図面番号表示)	S	11.5±0.7 図-07	11.0±0.7 図-07	11.0±0.7 図-07	11.0±0.7 図-07	11.0±0.7 図-07

**旋回速度**

- ・エンジン ; ハイアイドル
- ・作動油温 ; 50±5℃
- ・作業モード ; S又はMモード
- ・クッションストロークを除く作動時間
- ・バケット空荷で平坦地
- ・ブームシリンダ/アームシリンダ/バケットシリンダ最伸
- ・方法  
旋回レバーをフルストローク操作して旋回する。  
一回転動後の二回転に要する時間を測定し、  
一回転当りの所要時間を算出する。



旋回速度測定姿勢(最小リーチ)

図-07